

# 愛知運送株式会社



## 物流カイゼンのプロフェッショナルとして



**野口 安廣氏**  
愛知運送株式会社 代表取締役

1950年3月7日生まれ  
1972年3月東洋大学経営学部卒業

私たちは、得意先、従業員、パートナー、私たちに  
関わる全ての人々が豊かになるよう、公正な天秤役と  
して信頼を育むため、全体最適に向けて、物流の受け手、  
出し手、物流業者のWIN-WIN-WIN 関係が構築できる  
ような仕組みを立案し続けます。

また、日々の仕事での行動を通じ“できることから  
行う”という方針のもと  
(1) 簡単にわかりやすく  
(2) 持続可能な  
(3) 安心して利用できるサービス  
の提供をしていきます。

### ■ IT導入の背景と目的

親会社製品輸送のための、物流子会社として設立されたが、時代の変化とともに、設立当初と比べ、1社依存型の経営が非常に厳しいものとなってきた。また、このため、IT化への取り組みも遅れていた。

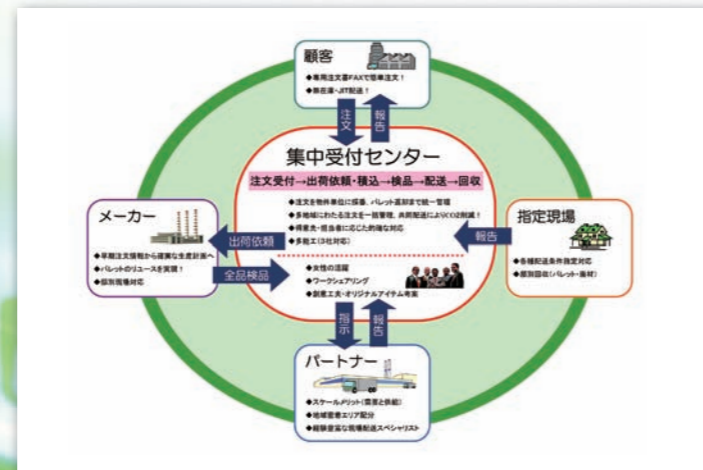
これらの状況から脱却し、多品種小ロット共同配送、ワークシェアリング体制に対応でき、必要な時に必要な情報を検索できるシステムが必要となった。

### ■ IT化の概要

情報処理の高度化、顧客の多角化と取扱品目の多様化を進め、各地域の運送企業と提携し、弊社が配送受付センターとして、コストダウンと運送効率の向上を図るべく、受注情報集約→配送指示・物件単位での進捗管理を行うことに特化することとした。

下記の取り組みを行い、物流改善コンサルティング・物流アウトソーシング業務・環境配慮物流推進業務の企画・運営等も展開。

- ・業務ルールの設定と徹底（従業員、顧客、メーカー、パートナーへのルール普及活動）
- ・標準化とマスターの整備（配送商品情報＝重量、体積、…など、車両1車単価からの単位変換）
- ・配送受付センター基幹システム構築（シンプルで、改善のし易いしくみとするために、EXCELにて自社制作した配送物件進捗管理DB入力/運用帳票出力システム運用からスタートシデジタル+アナログの共存にて、効率化と見える化を実現）
- ・情報サービス機能と情報共有サポート体制の構築（トレーサビリティ、配送イレギュラー情報などの提供による実態把握、社内及びパートナー企業とのメールリングリスト、イントラブログ運用による、業務引き継ぎの円滑化、ノウハウの蓄積）



### ■ IT導入の効果

- ・受発注受付代行取扱社数 1社→6社
- ・配送センター数 愛知1拠点→パートナー企業との連携により、全国10拠点に拡大
- ・共同配送による運送効率UP
- ・静脈物流（リユースシステム）  
→帰りのムダ削減  
（配送時に使用したパレット（メーカー所有）の100%回収→配送受付センター基幹システムにより進捗管理）
- ・短時間勤務でも活躍できる場の提供（雇用機会の拡大）  
勤務日数・時間の制約により、雇用や仕事内容を制限することなく、家庭と両立しながら、能力を発揮できる職場環境を目指し、ITの活用によって実現。  
（勤務が細切れになっても、他の人に漏れなく引き継ぎが出来るように、属人的にならないよう、情報共有にITを活用）
- ・情報活用により、日々の業務における顧客・パートナー間の調整を、公正に判断できるしくみを確立

### ■ ITコーディネータから一言

高度生産研究所

所長/ITコーディネータ 和澤 功氏

愛知運送の事務所へ一歩足を踏み入れてみると驚く。通常、運送会社には荒くれトラックマンがゴロゴロいるものであるが、ここには多くの女性スタッフが、明るい元気な声で生き生きと働いているだけである。一瞬何を本業としている会社かと思わず疑う。しかし、この女性スタッフの仕事が、愛知運送の新しいビジネスモデルを支える根幹になっているのである。

景気の悪さ（荷物の減少、値引き要請）、燃料高、3K職場、排気ガスなど環境問題…ときわめて悪い環境下で多くの運送会社が低迷している中、増収増益を続けてきている秘密はここにある。

情報とサービスを武器として、トラック（自車）と運転手を持たない新たな運送サービス（ビジネス）を確立している。それはグループ会社の瓦自社運送から脱却し、「物流改善コンサル/物流アウトソーシング/環境配慮物流推進業務の企画・運営などの付加価値をつけ、ITと情報をフルに活用し、地域密着のパートナーに効率的に運送してもらう」という新たな情報活用型の（運送）ビジネスモデルである。

ITをうまく活用しているから成せる業とも言えるが、こういった発想も単なる利益志向ではなく、広く社会貢献を目指しているCIOをはじめとする社員の皆さんの高い理念が基本になっていることは間違いない。

COMPANY DATA 所在地：〒444-1324 愛知県高浜市碧海町1-2-6

### 会社概要

注文受付→出荷依頼・積込→検品→配送→回収といったモノの流れを一括管理し、必要に応じて必要なだけの物流センター機能を提供します。モノに付随する「情報」を集中して収集・活用・提供する「総合受付センター」としての情報の集約、機能の展開を行うことにより、「新しい物流」の付加価値をご提案させていただきます。

そして、弊社ロゴのモチーフとした『砂時計と天秤』のように、私たちが物流の軸になる部分を担当しているという自負を持ち、太く厚い信頼で結ばれるような存在であることを目指します。

